

ヤ ス デ

屋外の落ち葉や倒木、石の下に生息していますが、時に家の周りで大発生し、屋内にも侵入して驚かされます。見た目が気持ち悪いですが、咬まれるなどの危害はありません。



● 形態

- 普通種のヤケヤスデは体長約 2 cm、幅 2 mm 程度、体色は褐色。
- 体型は細長く、多数の脚がありムカデに似ていますが、体の各節から 2 対の脚が出ています。(ムカデは 1 対)

● 生態

- 屋外の落ち葉や朽ち木の中、石や倒木の下など湿ったところを好み生息します。
- 主に腐食質を食べる分解者で、益虫です。
- 見た目の不気味さや、防御のために刺激臭のある体液を分泌するため不快感を与えます。
- 4～7 月頃発生し、梅雨時期に大発生したものが、雨上がり、水による溺死を避けるためにブロック塀や壁面に這い上がり、屋内に侵入することがあります。

● 駆除するには

- 発生源が周辺の山林や畑など範囲が不特定の場合、完全な駆除は困難です。
- 屋内に侵入しないよう家の周りにカーバメイト系殺虫剤や有機リン系殺虫剤の粉剤を帯状に散布します。
- 直接駆除する場合は、スプレー式殺虫剤を噴霧します。



● 発生を予防するには

- 腐った植物を除去し、雑草を刈り取ります。落ち葉を捨てる、廃材など不要な物を処理するなどの清掃を行い、日当たりをよくします。